

2027

学校案内リーフレット

School Information Guide

AD30 中濱 綱太郎
指導教員 西野 隆司

1. 研究目的

高専のように多数の学科が存在する教育機関は施設内の部屋数が多く、来校者がどこに何があるのかを来校者が瞬時に知る事は難しい。

学校見学に訪問された保護者や中学生が学校見学にとって、より快適に学校全体を堪能できる伝達能力の高いリーフレットを制作研究する。

2. 調査と分析

保護者と中学生がそれぞれ学校見学において「何を知りたい、見たいのか」ということと「現在学校で使用されているパンフレットでの不足している情報」を調査した。

保護者からの意見は「学校の教育内容・施設を知りたい」といった内容が多く挙げられた。

中学生からの意見は

- ・実際に学校で作成された作品(主にデザイン科や電子科などは制作物)を見たい

といった、それぞれ違う箇所に向けていることがわかった。

不足情報について、

- ・どこにその学科があるのかがわからない。
- ・視認性に欠けている。
- ・デザインの統一性は良いが面白みに欠ける。

といった意見が得られた。

3. コンセプトの立案

「コンパクト・瞬時に見られる」

調査で多かった「どこに何があるのかがパンフレットではわからない」「面白みに欠ける」という意見をふまえて「面白さ」を提案に入れた。

学校の全体図を取り入れ、学校見学をより十分堪能できるように提案する。

4. デザイン展開

まず、従来のパンフレットとは独立した使い方をすることを意識して凹凸の入った縦開きの見開きページに設定した。

ページごとに凹凸を取り入れることによって、指を引っかけてページをスムーズに開けられるようにし、見たい時に瞬時に目的のフロアページを開けるようにカラーを分け、下部分の見出し行にも何階なのかがわかる「見やすさ」と、パンフ

レットのビジュアルを学校内に入る際に登る大階段をイメージし、ちょっとした「面白み」をとり入れた。カラーはサレジオ高専のシンボルカラーでもある「青」を空に見立てて一階から順々に登っていく→空に近づいていくといった工夫を取り入れた。

折りたたみのページにすることによって、見る時は広々と紙面を使うことができ、使わないときにはコンパクトにたためるものにした。

5. 完成図



6. 結論

中学3年生の生徒に実際に使用してもらった結果、

- ・デパートのようなリーフレットで面白い
- ・ページ分けがされており見やすかった

などといった意見が得られた。しかし、

- ・フロアマップを取り入れる以外にも校舎内の説明があった方がもっと見やすい

といった意見も多く頂いた。見やすさといった部分はまだ改良の余地があったが、収納性や利便性といった使いやすさにおいては成功した。文章や写真をより多く用いて重要になりそうな校舎内の場所をピックアップすれば見やすさや伝達能力がもっと高くなるのではないのかと感じた。

7. 参考文献

- ・サレジオ工業高等専門学校, リーフレット, 2011
<http://www.salesio-sp.ac.jp/>
- ・K-8 京王八王子ショッピングセンター『フロアガイド』, <http://www.k-8.jp/>